

小海高等学校生活指導係発行

定期考査中の携帯電話の

扱い方が変わります！

定期考査中の携帯電話の扱い方についてはどの学校でも苦勞をしています。大学受験でも受験生が試験会場に携帯電話を持ち込んで不正に使用したことも記憶に新しいところです。また英語検定などの資格検定試験でも、携帯電話の扱いについて新たな決まりを作っているのが現状です。

本校ではこれまで定期考査の際には「携帯電話は電源を切り自分のカバンの中に入れる」という指導をしてきました。明日（6月27日(水)）から始まる1学期末考査からこれを以下のように変更しますので間違いないように注意して下さい。

<定期考査中の携帯電話・携帯型音楽プレーヤーの扱いについて>

携帯電話・携帯型音楽プレーヤーは、電源を切り所定の袋に入れ、毎時考査会場に持参する。考査開始前に各自袋を机のフックにかけ、監督の先生から見えるようにしておく。

- ・使用する袋は期末考査第1日目の朝のSHRで各クラス担任の先生が配布します。
- ・3日間の考査期間中の自習の時間も上記の通り自分の机のフックにかけてください。
- ・携帯電話に加えて、携帯型音楽プレーヤーも袋に入れることを忘れないで下さい。
- ・テストとテストの間の休み時間も必要がない限り携帯電話及び携帯型音楽プレーヤーに電源を入れないで下さい。
- ・考査開始前（＝チャイムが鳴る前）には机のフックにかけておき、考査終了時は試験監督の先生の指示で終わりの挨拶が終了するまで携帯をいじらないで下さい。
（不正に使用していると誤解をまねくような行為はしないこと）
- ・試験終了から清掃～帰りのSHRはいつもと同じように携帯を使用してはいけません。
1日の最後の試験終了後は携帯電話は袋に入れたまま自分のカバンに入れて清掃を行って下さい。
- ・袋は帰りのSHRで回収します。

今回このように携帯電話等の扱いを変更したのには理由があります。その理由とは「テスト中に携帯電話がどこにあるのかはっきり分かるようにする」ということです。ですから指示の通り机のフックにかけて試験監督の先生に見えるようにしておいて下さい。また、休み時間や会場への移動途中に携帯電話を使用出来るようにするためにこのように変更するわけではありません。出来る限り考査中に携帯を使わないということが目的です。ですから休み時間も電源を入れないで下さい。

生徒諸君全員は今回の変更の趣旨を理解した上で問題なく定期考査を受験してください。